

平成29年度(2017年度)公益財団法人静岡県文化財団事業報告

I 総括

平成29年度(2017年度)は、第4期(2017~2021年度)グランシップ指定管理業務の初年度であり、「上質で多彩をより身近に」「県民との繋がり」と広域的な協働・交流」「安全・安心・快適な施設運営と経営の安定化」「働きやすい職場づくり」を四本の柱として事業を展開した。

1 上質で多彩をより身近に

- ・ 県と一体となって、文化芸術の振興 ― 本県の文化の創造、発展、普及 ― を図るため、クラシック等の音楽を中心とした現代舞台芸術や、歌舞伎、能楽等の伝統芸能の「上質」で「多彩」な公演事業を、グランシップだけでなく、県東部、西部の他館でも実施した。
- ・ 「ふじのくに文化情報センター」に文化財団が有する助成等の文化支援機能を集約し、県民の文化芸術活動への積極的な支援に取り組んだ。

2 県民とのつながりと広域的な協働・交流

- ・ 静岡県立美術館、静岡県舞台芸術センター (SPAC) を縦糸に、大学、高校及び中学等の学校、市町の公立文化施設、文化芸術団体、アーティスト、マスコミ、企業を横糸に、連携の強化を図った。
- ・ 県民参加型の音楽祭である「音楽の広場」は、過去最高の参加者を、「トレインフェスタ」では、県内鉄道会社のトークショーを新たに実施したことなどにより3万人を越す来場者を記録するなど、県民との繋がりを目指す事業を展開した。また、静岡らしいオリジナル楽曲を創作する「N響室内楽シリーズ」を開始するなど、県内外の様々な組織、個人とネットワークを構築しながら、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて本格化する文化プログラム推進の一翼を担った。
- ・ 県文化プログラム推進委員会が計画している共創プログラムのグランシップ開催を調整するなど、県内における文化プログラムの拠点として、貸館においても積極的に文化プログラムの推進に向けて、関係機関等と連携を図った。
- ・ 貸館の利用を促進するため、きめ細かな貸館利用情報を分かりやすく提供するとともに、催事開催支援サービスを充実するなど、一層の利便性向上に取り組んだ。また、ツインメッセ静岡と連携して、首都圏の催事主催者や企画会社を対象に、大規模催事の共同誘致のための「静岡市内の展示施設見学会」を開催した。

3 安全・安心・快適な施設運営と経営の安定化

- ・ 適時適切に施設の点検を行うとともに、ユニバーサルデザインに配慮しながら、展示ギャラリー照明の交換など遅滞なく維持修繕を実施した。また毎月の防災訓練の実施などを通じ、安全・安心な施設・設備の管理運営に取り組んだ。
- ・ 国等の助成制度を積極的に活用するとともに安定的な収入の確保と経費の節減により、効率的・効果的な運営を図った。

4 働きやすい職場づくり

- ・ 契約職員の正規職員化や改正育児休業法を受け規程を改正し、職員に周知するなど、労働時間、育児休業制度の適切な管理に取り組み、職員の仕事と生活の両立を推進した。

II 事業概要

1 文化芸術の振興事業

(1) グランシップ企画事業

複合施設としての特性を生かし、「現代舞台芸術」、「伝統芸能」、「文芸・美術」、「ふれあいイベント」のジャンルを中心に、これまで培ってきたリソースとネットワーク、そしてグランシップの特性を熟知した専門人材をフルに活用して新たなグランシップファンを獲得する取り組みを展開した。

特に、中学生のための音楽会や歌舞伎鑑賞教室などに次世代を担う若い世代や子どもたちの参加を促し、本物の文化芸術に触れる機会の充実を図った。また、提携公演を通じ、県民参画や地域の文化団体等との連携を積極的に推進した。

項目	事業本数	入場参加者数
①上質で多彩な鑑賞事業	20本	12,503人
②誰もが参加できる県民参加型事業	17本	109,393人
③ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業	11本	3,369人
④関心・理解・親しみを深める教育普及事業	13本	11,046人
合計	61本	136,311人

① 上質で多彩な鑑賞事業

現代舞台芸術と伝統芸能を二本柱としたラインナップにより、バランスのとれた上質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会を提供した。

◎現代舞台芸術

(単位：人)

	事業名	月日 会場	入場 者数	内 容
1	伝統の国と音/ポルトガル アントニオ・サンブージョ〜郷愁の歌声〜	7/7 交流ホール	216	ポルトガルの伝統音楽「ファド」の公演 出演:アントニオ・サンブージョ(ギター)他
2	世界のこども劇場2017 子供のためのシェイクスピア	7/30 中ホール	287	子供のためのシェイクスピア『リア王』の公演 出演:福井貴一他
3	世界のこども劇場2017 (海外招聘)	8/3~5 中ホール	1,341	世界の劇団による児童演劇、日本の狂言も実施 出演:ロイスアンサンブル(フィンランド)他
4	ジャズ・ライブ 渡辺貞夫 カルフォルニアジャズ2017	8/31 中ホール	881	一流ミュージシャンの共演で飾るジャズ公演 出演:渡辺貞夫(サックス)他
5	バリ管弦楽団プラス・クインテット	10/23 中ホール	400	バリ管弦楽団首席ソ奏者による極上のサウンド公演 曲目:フレンチサンソンメトレー他
6	ウラジミール・フェトセーフ指揮 チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ	11/4 中ホール	761	海外一流オーケストラによるチャイコフスキーの名曲を公演 曲目:交響曲第6番「悲愴」他
7	クリスマス・ジャズ・ライブ 小曾根真feat. No Name Horses	12/15 中ホール	810	クリスマス時期を飾る一流ミュージシャンによるジャズ公演 出演:小曾根真(ピアノ)他
8	グランシップ&静響 ニューイヤーコンサート(2公演)	1/12 中ホール	1,644	静岡交響楽団との共催で開催するクラシック公演 指揮:篠崎靖男、スペシャルゲスト:中丸三千繪(ソプラノ)
9	村治佳織ギターリサイタル ラブソティエ・ジャパン	1/19 中ホール	745	ギターで奏でる日本の歌、クラシックの名曲 曲目:ラブソティエ・ジャパン他
10	パレンタイン・ジャズ・ライブ ケイコ・リー	2/10 交流ホール	313	しなやかな歌声に酔いしれるジャズ公演 出演:ケイコ・リー(ヴォーカル)
11	NHK交響楽団×野平一郎 プロジェクト シリーズ I	3/3 中ホール	558	野平一郎氏新譜の初演、出演:NHK交響楽団メンバー、曲目:静岡トリロジー I 他
12	ステイヴ・ガット スーパー・ジャズ・ライブ	3/8 交流ホール	320	伝説的ドラマーが率いるジャズバンド ブリッチャー・ヘマー・ガットのジャズ公演

◎伝統芸能

(単位：人)

	事業名	月日 会場	入場 者数	内容
13	【伝統芸能シリーズ】 人形浄瑠璃 文楽	10/7 中ホール	1,292	文楽協会による人形浄瑠璃公演 演目：曾根崎心中他
14	グランシップ寄席 ～嘶に生きるおんなの功～	10/28 交流ホール	128	季節やその他の催事と関連させたテーマによる良 質な話芸の公演
15	グランシップ寄席 柳家喬太郎独演会	3/16 交流ホール	304	出演：(10月)入船亭扇辰(落語)他 (3月)柳家喬太郎(落語)
16	【伝統芸能シリーズ】 静岡能	1/27 中ホール	661	宝生流能楽師による能楽公演 演目：半蔵(はしとみ)他

◎文芸・美術

(単位：人)

	事業名	月日 場所	入場 者数	内容
17	アートコンペ2017	5月～	800	作家・作品：深尾尚子・ネズミの夢、松藤孝一・都 市
18	サポーター企画 懐かしの映画会	10/21、22 中ホール	142	フィルム映画の上映(文化庁、国立近代美術館フィ ムセンターとの連携) 作品：東京オリンピック他
19	サポーター企画 撮影サポーター写真展	11/16～1/6 3Fロビー	840	撮影サポーター撮影によるグランシップ企画事業写真 展
20	サポーター企画 懐かしの映画会(洋画劇場)	11/18 映像ホール	60	グランシップサポーターの企画による洋画DVDの上 演 作品：駅馬車他

② 誰もが参加できる県民参加型事業

プロ・アマを問わず、障がいのある人も無い人も分け隔てなく、本県ゆかりのアー
ティストが参画する事業を拡充し、文化芸術活動のレベルアップとグランシップに親しみ
を感じてもらえる環境づくりを進めた。

◎現代舞台芸術

(単位：人)

	事業名	月日 会場	入場 者数	内容
1	ジャズクリニック	7/15～8/13 リハーサル室他	88	ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル出演者を対象とした ジャズクリニック
2	音楽の広場2017	8/6 大ホール	8,128	本県ゆかりのオーケストラ・合唱団等音楽家600人に よる県民参加型のコンサート 指揮：広上淳
3	ビッグバンド・ジャズ・ フェスティバル2017	8/13 大ホール	1,910	アマチュアビッグバンドによるジャズ・フェスティバル 出演：飯田英憲とフレッシュメンジャズオーケストラ他
4	【提携公演】静岡フィルハーモニー管弦楽 団 気軽にクラシックを!静岡フィル広場	11/19 大ホール	1,996	芸術団体に対する発表の場の提供 曲目：「くるみ割り人形」より花のワルツ他
5	【提携公演】静岡混声合唱団TERRA 第11回演奏会	2/12 中ホール	886	芸術団体に対する発表の場の提供 曲目：平和という果実他
6	【提携公演】TAKE HEART BEAT Live vol.3	3/4 中ホール	255	芸術団体に対する発表の場の提供 曲目：シング・シング・シング他
7	【提携公演】 Chikara2018in Shizuoka	3/11 中ホール	783	芸術団体に対する発表の場の提供 曲目：琉神エイサー他

◎文芸・美術

(単位：人)

	事業名	月日 会場	入場 者数	内容
8	静岡の魅力フォトコンテスト巡回展	5月～8月	24,023	フォトコンテストの周知を目的とした過去受賞作品の巡回展示会場：県内ショッピングモール等
9	Wonderfulアート	9/16～10/1 展示ギャラリー	2,723	県内の特別支援学校児童・生徒による作品展「ウィズ・ハート展」とNHKハート展を開催
10	Wonderfulコンサート	9/18 交流ホール	194	障がいのある方やこどもから大人まで一緒に参加できるコンサート、出演：戸村愛美(登録アーティスト)他
11	Wonderfulパフォーマンス withスロームーブメント	9/18 交流ホール	194	障がいのある方も一緒に参加し作り上げる、からだを使ったパフォーマンス、出演：スローレベル他
12	静岡の魅力 第9回フォトコンテスト入賞作品展	1/13～28 展示ギャラリー	1,773	本県の写真文化の振興と本県の魅力を全国に発信するフォトコンテストとその作品展示、表彰式1/13(土)
13	高松宮妃おひなさま展	2/19～3/4 展示ギャラリー	12,339	県立美術館所蔵の高松宮妃ゆかりのおひなさまの展示

◎ふれあいイベント

(単位：人)

	事業名	月日 会場	入場 者数	内容
14	こどものくに ～ふしぎなカタチたち～	5/4～7 展示ギャラリー他	19,870	手作業や身体感覚を使って親子で楽しむ体験型イベント テーマ：形
15	トレインフェスタ2017	5/20～21 全館	30,814	鉄道模型コーナーやミニ列車乗車会など、家族で楽しめる日本最大級の鉄道イベント
16	冬のおくりもの2017	11/18～12/25 大ホール他	3,080	県民の賑わいを創出するためのクリスマスを盛り上げる館内装飾や展示・イベント
17	ふじのくに芸術祭春の祭典 「受賞式・総合開会式」	2/18 中ホール	337	ふじのくに芸術祭のメインイベントである「春の祭典受賞式・総合開会式」の実施(静岡県との共催)

③ ワークショップから公演まで様々なアウトリーチ事業

市町の公立文化施設への出前公演や、他施設との共同事業を推進し、県内全域を見渡した事業展開を図るとともに、普段文化施設に來られない、あるいは生の文化芸術に触れる機会が少ない地域の学校、施設等に文化芸術を届けるアウトリーチ活動をフットワークよく展開した。

◎出前公演

(単位：人)

	事業名	月日 会場	入場 者数	内容
1	世界の子ども劇場2017	8/9 掛川市	313	グランシップで開催される世界の劇団による児童演劇の出前公演 会場：掛川美感ホール(8/9) 菊川文化会館アエル(8/10) 裾野市民文化センター(8/13)
		8/10 菊川市	169	
		8/13 裾野市	146	
2	詩人と語ろう！ ことばを語ろう！	11/5 三島市	20	「しずおか連詩の会」に連動した詩人と交流するワークショップ、会場：三島市民文化会館
3	しずおか連詩の会2017in三島	11/12 三島市	231	静岡ゆかりの詩人大岡信が提唱した連詩の創作発表、創作：谷川俊太郎他、会場：大岡信ことば館
4	文楽事前講座 山川静夫のここがみどころ ききどころ	2/4 御殿場市	104	文楽公演に連動した公演の見どころを紹介 会場：御殿場市民会館
5	0歳児から聴こう！ ふれあいコンサート	2/12 菊川市	662	0歳児とその家族が気軽に楽しめる音楽コンサート 会場：菊川文化会館アエル
6	人形浄瑠璃 文楽	3/18 御殿場市	607	文楽協会による人形浄瑠璃公演 演目：曾根崎心中他、会場：御殿場市民会館

◎アウトリーチ

(単位：人)

	事業名	月日 会場	参加者	内容
7	人形浄瑠璃「文楽」 出前講座(2回)	7/13～14 磐田市	165	文楽協会の協力のもと実施する文楽講座 会場：市立豊田中学校他
8	六代目宝井馬琴監修 講談教室(3回)	9/7～10/24 焼津市	261	六代目宝井馬琴監修の講談教室 会場：市立和田小学校他
9	連詩をつくろう！ワークショップ(2回)	9/19、11/28 河津町他	46	連詩の会参加詩人による連詩の創作ワークショップ 会場：町立南小学校他
10	ミニコンサート(2回)	9/27、10/23 静岡市	233	音楽公演出演者による音楽公演 会場：県立静岡南部特別支援学校他
11	登録アーティストアウトリーチ(7回)	10/13～2/27 浜松市他	412	グランシップ登録アーティストによる音楽公演 会場：市立南の星小学校他

④ 関心・理解・親しみを深める教育普及事業

これまでグランシップの事業に興味、関心をもっていただけなかった人たちに、文化芸術の素晴らしさを体感し、さらなる興味を持ってもらえる事業を推進した。

◎現代舞台芸術

(単位：人)

	事業名	月日 会場	入場 者数	内容
1	合唱ワークショップ～歌のメロコラント～ (2回)	5/4 中ホール	1,370	体を動かしながら子どもから大人まで楽しめるワークショップ、出演：静岡児童合唱団他
2	第37回静岡県学生音楽コンクール 2017(本選)	8/20 中ホール	787	県内学生による音楽コンクール
3	オーケストラ塾 朴久玲が語り、弾くチャイコフスキーの叙情	9/2 リハーサル室	44	オーケストラ公演をより楽しめるように解説する事前レクチャー、講師：朴久玲
4	小曾根真とNo Name Horsesメンバーによるジャズ講座	9/22 大ホール	122	ジャズをより深く楽しむためのレクチャー 講師：小曾根真他
5	日露交歓コンサート 2017	9/28 中ホール	850	日本とロシアの音楽交流による音楽公演 出演：チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院
6	中学生のための音楽会	1/23～24 中ホール	3,631	県内中学生を招待し、上質な音楽芸術を体験させるコンサート、出演：大阪フィルハーモニー交響楽団

◎伝統芸能

(単位：人)

	事業名	月日 会場	入場 者数	内容
7	伝統芸能普及プログラム (能楽)	5/23～11/28 静岡市	1,299	文化施設での伝統芸能ワークショップ、学校公演、 大学出張講座等 会場：常葉大学、静岡市立北沼上小学校 他
8	伝統芸能普及プログラム (文楽)		18	
9	伝統芸能普及プログラム (歌舞伎)		224	
10	伝統芸能事前講座 岩下尚史の伝統芸能へようこそ!	5/28 交流ホール	174	グランシップ伝統芸能シリーズの各公演に先立ち伝統芸能への知識を深める事前講座
11	国立劇場歌舞伎鑑賞教室(2公演)	6/26 中ホール	1,499	国立劇場の出張公演 演目：「毛抜(けぬき)」他
12	文楽事前講座 山川静夫のここがみどころきどころ	8/29 交流ホール	141	「文楽」公演に連動した本公演のみどころを紹介する講演会
13	静岡能 能楽入門公演	9/23 中ホール	887	初心者向けの能楽公演出演：宝生流能楽師

⑤ 新たなグランシップファン獲得のための取り組み

ア 広報・宣伝の展開

広報の対象に照準を合わせた実施計画を立て、新聞、タウン誌等対象に合った広報媒体を利用しながらグランシップ企画事業を宣伝した。

イ 新たな世代への取り組み

若年層へ情報発信するツールとして、Facebook、ブログ、Twitterなどのネットを活用し、新たな鑑賞者層の獲得に取り組んだ。

ウ 中高生等への鑑賞支援策

子どものうちから上質で多彩な文化芸術に身近に触れる機会を提供するため、各公演の学生チケット料金（28歳以下の大学生、子ども）を原則1,000円で設定した。

また、中学校、高校で学校行事・クラスや部活動等で先生が引率する場合には、チケット料金を800円に割り引くとともに、中高生芸術鑑賞支援制度により交通費を支援した。

さらに、高校生については、全県高校生を対象とした「高校生アートラリー事業」により、鑑賞機会の増加を推進した。

エ 県外への広報

トレインフェスタやNHKコンサートシリーズなど、オリジナル性が高く静岡県らしい事業を全国誌等でPRするなど認知度の向上を目指した。

(2) 文化支援

「ふじのくに芸術回廊の実現」を推進する中核的存在となるよう、県内の文化活動を側面的に支援する「ふじのくに文化情報センター」（平成27年4月開設）の機能強化を図るとともに、グランシップ企画事業を活用した人材育成に取り組んだ。

① ふじのくに文化情報センター

助成、顕彰等、文化支援の取り組みを文化情報センターに集約し、ネットワークづくりを進め、文化芸術活動を支える基盤づくりにつなげた。なお、文化情報センターの活動方針、計画等、運営に関して運営委員会を設置し、助言指導を受けながら進めた。

○ふじのくに文化情報センター運営委員会

- ・運営委員 7人（センター長ほか外部委員）
- ・開催回数 3回

ア 静岡県文化情報サイト「ふじのくに文化情報」の利用促進

文化芸術活動に取り組む人や県民に利用しやすいサイトを目指し、県内の文化芸術催事情報の登録をしやすくした。また情報誌「GRANSHIP」に情報を一元的に集約し、発信機能を強めた。

○登録団体等・施設数 (平成30年3月31日現在)

文化団体	アーティスト	貸施設
280団体	76人	145施設

○アクセス数（延べ数）

対象期間	表示ページ数	アクセス数
H29. 4. 1～H30. 3. 31	延べ916, 140ページ	194, 403人

イ 総合相談窓口の運営

面接、電話、メールによる総合案内役として相談窓口を運営した。

相談件数	主な相談内容
36件	助成、活動、事業の企画

ウ 交流と研修の場づくり

交流と研修・情報収集の場として、「こかげのまなびば」（月2回）と「ふじのくに文化情報フォーラム」（年2回）の充実を図るとともに、文化芸術活動の社会性を考える学術、文化をテーマとした「グランシップ文化講座」（2講座）を開催した。また、新たにアートマネジメントをテーマに、静岡文化芸術大学と連携した講座を開設した。

○ミニ講座「こかげのまなびば」

実施日	毎月隔週水曜日18時30分～
会場	グランシップ 旧カフェ
概要	<ul style="list-style-type: none"> 文化団体、中間支援組織やアーティスト等の講師と参加者が情報やアイデアを交換、交流する場 毎回のテーマは文化支援や地域の文化活動に関する事項 実施回数 23回、参加者 257人

○ふじのくに文化情報フォーラム

実施日	H29. 10. 15（日）	H30. 3. 10（土）
会場	グランシップ 交流ホール	グランシップ 会議ホール・風
概要	<ul style="list-style-type: none"> 文化団体、文化施設等、文化芸術活動に取り組む人が一堂に会し、参加者が1対1での対話を通じて交流し、協働の可能性を探る。 トークセッション、対話プログラム、交流会 参加者 80人 	<ul style="list-style-type: none"> 文化活動に取り組む15人と参加者がテーブルを囲み、活動に対する思いや課題、アイデアを共有する。 基調講演、15人のリーダーと参加者によるワークショップ、交流会 参加者 103人

○グランシップ文化講座

概要	最先端の科学技術や社会問題などをテーマに文化を幅広くとらえた講座。日本の第一人者が、若い人たちを中心に静岡県の将来を一緒に考え、明るい姿が想像できる、未来に向けた行動のきっかけづくりへと繋げる。	
テーマ	ゲムと人間の未来	光化学へのいなざい ～その光が導く未来～
実施日	H29. 10. 28（土）、29日（日）	H30. 2. 10（土）、11日（日）
会場	グランシップ 910会議室	グランシップ 910会議室
参加者	214人（2日間延べ人数）	364人（2日間延べ人数）

○静岡文化芸術大学との連携事業

- 静岡文化芸術大学エグゼクティブ・プログラム(SUAC-EP)

文化施設や実演芸術団体、自治体文化政策等の現場で働く実務家のキャリアアップのためのプログラムを開講した。

開催期間	会場	内容	参加者数
H29. 5. 16～8. 1のうち、10日間	グランシップ 会議室	アートマネジメント基礎(90分×10コマ) 芸術文化政策基礎(90分×10コマ)	11人(延べ77人)

エ 文化活動団体の顕彰等

県内の文化活動を発展、振興していくため、文化団体に助成（ふじのくに文化プログラム推進事業助成）するとともに、新たな地域文化の創造を目指し多彩で優れた文化活動団体を顕彰した。なお、本県の文化芸術の魅力を掘り起こして発信する書籍の発行に向けて準備作業をした。

○地域文化活動団体顕彰事業

区 分	内 容
募集期間	H29. 8. 1から9. 30まで
応募団体数	15団体
選考委員会	H29. 12. 18（月） （選考委員：学識経験者、文化関係者、当財団役員等 6人）
受賞団体	4団体

区 分	団体名	地 区
地域文化活動賞	清水郷土史研究会	静岡市
奨 励 賞	浜松少年少女合唱団 知半アートプロジェクト委員会 藤枝市民活動団体 似顔絵・ウフ	浜松市 伊豆の国市 藤枝市

オ その他

大ホールショーウィンドーにアートコンペにて決定した作品を展示するとともに、映像ホールを活用したレコードコンサートにも取り組み、グランシップが文化振興の拠点として、親しみやすい環境づくりを進めた。

○グランシップアートコンペ2017（作品展示）

展示期間	作 者	作品名
H29. 5～8	深尾尚子	ネズミの夢
H29. 8～H30. 5	三上俊希	呼吸

○レコードコンサート

開催日	回数	参加者数
7月、10月以降の毎月最終金曜日	7回	433人

② グランシップ企画事業を活用した人材育成

県内の公立文化施設職員の資質向上や交流を促進し、地域の文化活動団体、アウトリーチに関係する教育関係者、文化行政関係者とのネットワークを強化するため、「アートマネジメントセミナー」や大学生を対象としたインターンシップを実施した。

また、実演による文化芸術を県内各地へ提供するため、地域で活躍するアーティストをグランシップ登録アーティストとして登録し、各地域の公立文化施設と連携しながら音楽アウトリーチに取り組んだ。

	アートマネジメントセミナー	登録アーティストアウトリーチ	インターンシップ
対 象	県内公立文化施設職員	登録アーティスト	大学生
期 間	H29. 6～H30. 3	H29. 10～H30. 2	H29. 6～10
参加人員	研修生：9人、聴講生：17人（延べ127人）	15人（7回実施）	15人（延べ153人）

※インターンシップは、短期集中型4人を含めて、19人。

(3) 文化プログラムに対する取り組み

① グランシップオリジナル文化プログラム

「音楽の広場」「トレインフェスタ」「世界のこども劇場」「Wonderfulアート」を文化プログラムを意識した内容で実施した。また、「N響室内楽シリーズ」では、静岡音楽館AOIの野平一郎芸術監督に静岡トリロジーを作曲し、披露するなどオリジナル楽曲の創作に取り組んだ。

② 関係機関と連携した文化プログラム

静岡県文化プログラム推進委員会による共創プログラムのグランシップでの開催を調整する等、組織委員会、県文化プログラム推進委員会との連携を密にして、全県的なオリンピックムーブメントの醸成に努めた。

③ 文化力プロジェクト環境整備事業

ア ふじのくに文化プログラム推進事業助成

東京オリンピック・パラリンピック大会の開催を機に、県内の多彩な文化芸術活動や「ささえる」活動を発展・継承し、県内外に発信するため、文化団体に対して助成した。

○事業補助

(単位：千円)

	補助団体名 (所在地)	対象事業名	補助額
1	浜松少年少女合唱団 (浜松市)	浜松少年少女合唱団第18回定期演奏会	300
2	浜松イントネオ友好協会 (浜松市)	第12回バンドン浜松文化祭	300
3	静岡市民ミュージカル実行委員会 (静岡市)	静岡市民ミュージカル2017～川の流れのオルゴール～	300
4	浜松オペラ合唱団 (浜松市)	オペラ「イル・トウ・アトレ」	300
5	知半アートプロジェクト委員会 (伊豆の国市)	第8回知半アートプロジェクト 六田知弘写真展「記憶のかけら」	300
6	TO BE FREE実行委員会 (静岡市)	ふじのくに市民参加型ミュージカル 『TO BE FREE』	200
7	富士宮プレミアムコンサート合唱団 (富士宮市)	富士宮市民による市制75周年記念第九演奏会	300
8	日本茶道塾 (袋井市)	オリンピック・イヤーに向けた日台茶文化発展のための交流茶会	300
9	三島グロリア合唱団 (三島市)	三島グロリア合唱団第35回定期演奏会	300
10	シアタープロジェクト静岡 (焼津市)	シアタープロジェクト静岡 焼津小泉八雲記念館公演	300
計	10団体		2,900

○団体補助

(単位：千円)

	補助団体名 (所在地)	対象事業名	補助額
1	古谿荘に親しむ会 (富士市)	継続的な活動の為の次世代スタッフ養成事業	150
2	一般社団法人シフォニック静岡 (焼津市)	県外での広報活動強化	150
3	登呂会議 (静岡市)	ARTORO「土がぼくらにくれたもの。～自給自足は道具から～」	150
4	特定非営利活動法人伊豆学研究会 (伊豆の国市)	文化財調査の担い手育成活動	125
5	特定非営利活動法人コスメティシマダ (島田市)	大地の芸術祭に学ぶ・文化を支える人材育成の手法と協働の仕組み	125
計	5 団体		700
事業・団体補助合計		15団体	3,600

イ 本県の魅力掘り起こしと発信に係る事業

県内の文化資源の存在や価値を再発見し、文化プログラムの推進につなげるとともに、県民の共有財産として、後世に伝えていく書籍を発行するため、2018年度に設置する、しずおかの文化企画編集委員会の準備を進めた。

ウ 次世代を担う中高生が文化芸術に触れる機会を創出する事業

文化プログラム推進の一環として、次世代を担う県内の中高生に上質で多彩な文化芸術に触れてもらうため、グランシップ企画事業の鑑賞に要する交通費を全額支援した。

公演数	学校数	生徒数	金額
11公演	31校 (28校)	2,569人	4,390,182円

※ () 内は実数、教員・生徒を合わせ延べ2,753人が利用)

2 グランシップ管理運営事業

施設の適正な維持管理及び貸館業務等の円滑な運営を通じて、学術、文化及び芸術並びに国内外との交流を推進した。また、収益を公益目的事業の財源に充てるなど、公益目的事業の一層の充実を図った。

・入館者数…624,442人

※開館(平成11年3月)以来の入館者総数 13,662,761人(平成30年3月31日現在)

(1) 貸館

公共性と収益性のバランスを確保しつつ、「親切・丁寧・柔軟・迅速」をモットーに利用者の満足度を高め、施設の利用促進を図った。

○主要施設の稼働実績

	大ホール	中ホール	交流ホール	会議ホール	展示ギャラリー
稼働実績	236日	255日	249日	239日	273日
利用可能日数	300日	314日	317日	319日	325日
稼働率	78.7%	81.2%	78.5%	74.9%	84.0%

※上記ホール系の平均稼働率は79.5%、施設全体の稼働率は82.6%

○全国大会等のコンベンション開催状況

	開催日	催事名
1	4/15～16	第7回全日本極真空手道型選手権大会 第8回東日本極真空手道選手権大会
2	4/23	中部日本ダンス競技静岡県大会
3	4/28	平成29年度十六都道府県人事委員会協議会委員長・事務局長会議
4	5/12	公益社団法人 日本口腔外科学会 中部支部 学術集会
5	6/7～9	第26回環境化学討論会
6	7/9	東海カラオケ歌謡祭
7	7/15	第20回 国際文化交流会
8	7/16	中国商務部対日投資促進団との対日投資の可能性セミナー
9	7/22	経営計画中間報告会
10	7/30	静岡フレンドサークル37周年記念パーティー
11	8/7	平成29年度 中部地区官庁施設保全連絡会議
12	8/20	中部日本ダンス競技静岡県大会
13	8/20～23	第54回全国高等学校美術、工芸教育研究大会2017静岡大会
14	8/26～27	第56回日本SF大会
15	8/31	第4回日中韓生物多様性政策対話
16	9/1	第26回DDSカンファレンス
17	9/3	平成29年度国家公務員採用一般職試験(高卒者試験)等第1次試験
18	9/8	日本体育学会第68回大会
19	9/21	新しい日韓関係と未来ビジョン
20	10/5～6	第37回農薬製剤・施用法 第35回農薬環境科学 合同シンポジウム
21	10/7～8	NPO法人日本交流分析協会第40回全国大会
22	10/11～13	第51回日本芳香族工業会大会(静岡)
23	11/4	第28回日本小児外科QOL研究会
24	11/6～8	第38回作業環境測定研究発表会第57回日本労働衛生工学会
25	11/6	日測協ワークショップ
26	11/22	民生委員制度創設100周年記念大会
27	11/24～25	第22回静岡健康・長寿学術フォーラム
28	11/29～30	第14回お米日本ーコンテストinしずおか
29	12/8～10	第25回日本産業ストレス学会
30	12/19	「チャレンジ 東海」新幹線第31回新幹線鉄道事業本部発表大会
31	12/27～28	(株)アイエイ全社交流会、懇親会、次年度経営計画発表会
32	1/3	静岡市成人式
33	1/4～10	富士山としぜん写真展
34	1/9～10	平成29年度中部ブロックDMAT技能維持研修
35	1/27	第37回静岡音楽祭

	開催日	催事名
36	1/31	ふじのくに総合食品開発展2018
37	2/23～24	SUS株式会社 第27期経営計画発表会・懇親会
38	2/27～28	2018年3・11ビキニデー-日本原水全国集会
39	3/3～4	第14回日本褥瘡学会中部地方会学術集会
40	3/4	第30回静岡県警察音楽隊定期演奏会

① 利用者サービスの一層の向上

サービスの質の向上を目指し、利用者会議を開催するとともに全ての利用者に対してアンケート調査を実施し、利用者ニーズを的確に把握・分析し、迅速に対応した。

また、催事開催支援サービス（ワンストップサービス）の定着を踏まえ、利用者ニーズを把握してサービスメニューの拡充に努めた。

○業務改善の推進

- ・弁当新メニューの取り扱い開始
- ・使用結果報告書のお客様のご意見に対する対応改善報告の徹底
- ・フロアガイドの改訂

○インターネット予約（平成24年9月～）…100人未満の中小会議室・練習室
予約率 58.3%

○利用者会議の開催

区分	内 容
開催日	H30. 2. 20(火)
場 所	グランシップ 1202・1002会議室
参加者	平成29年度中に催事開催支援サービスを利用した主催者5団体6人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・催事開催支援サービス ・ケータリングサービス、デザートbuffet試食 ・意見交換 等

○催事終了後のアンケート

区分	内 容	
回答数	4,950件/6,436件 (回答率76.9%)	
結 果	施設・備品が使いやすい	85.9%
	館内サインがわかりやすい	83.9%
	スタッフの対応が良い	86.2%

○催事開催支援サービス

- ・弁当、ケータリング、パーティー
- ・テクニカルセッティング、看板、生花、会場設営
- ・レイアウト転換、ごみ処理
- ・事務サポート

② 積極的な営業活動

貸館の優先予約制度を活用し、柔軟に予約を受け入れるとともに、文化団体や県内マスコミ事業部、県内コンサートプロモーターへの営業活動等により、様々な文化芸術・学術催事を積極的に誘致した。

また、県内の文化芸術団体や大学等と協働関係を強め、ふじのくに芸術祭のイベントを誘致したほか、空き状況をDMで利用者に送る等、積極的に営業活動に取り組んだ。

③ 大規模催事の誘致

県内外への営業訪問を計画的に行い、コンベンション等を誘致し、施設利用の一層の拡大を図った。また、(公財)するが企画観光局、ツインメッセ静岡((公財)静岡産業振興協会)、静岡市民文化会館((公財)静岡市文化振興財団)等と連絡会を設け、誘致のための情報交換を行った。

特に、ツインメッセ静岡とは平成29年11月に「静岡市内の展示施設見学会」を共催し、8団体12人が参加した。また、日本政府観光局主催の国際会議海外キーパーソン招請事業(Meet Japan)に際し、静岡市と連携し海外からの視察を受け入れ、国際会議誘致に取り組んだ。

(2) 維持管理

① 安全・安心・快適な施設管理

グランシップ指定管理者として、施設管理、警備、清掃、舞台技術の各業務を専門業者に委託しながら、適切に管理運営した。

南北外部通路天井改修工事、非常用発電機修繕工事等、県修繕工事が円滑に実施できるよう協力した。また施設の運用に支障が生じないように、展示ギャラリー照明の交換、中ホール座席の修繕、消防用設備、空調機等の不良・不具合箇所を迅速に修繕した。

② ユニバーサルデザインに配慮した施設運営

すべての来館者が、安心して利用できる施設とするため、毎月の防災訓練の中で、障害のある方への対応等、様々な来館者に対応するための研修を実施した。

③ 省エネルギーと環境負荷の低減

エネルギー監理員の主導による効率的なエネルギー運用に取り組みを確実にするため、財団及び各常駐事業者からなる省エネルギー推進委員会を毎月開催して、館全体で省エネルギーと環境負荷低減に取り組んだ。

○エネルギー使用実績

電 気	55,868 GJ
ガ ス	31,146 GJ
エネルギー総量	87,014 GJ

④ 駐車場管理、自動販売機等管理

来館者サービスの向上を図るため、適切な駐車場管理を行った。また、館内に自動販売機・公衆電話等を設置し、適切に管理した。(自動販売機15台・公衆電話4台)

○収入実績

駐車場収入	55,440千円
自動販売機等設置手数料	7,400千円

(3) サポート組織運営

県民の自主的な参加・参画を得て、グランシップの管理・運営を実施した。

業務区分	内 容	活動者数
広 報	ダイレクトメール発送、広報勉強会、館外でのポスター・チラシの掲出・配架、見学案内等	62人
イベント	受付、もぎり、資料配布、会場案内、避難誘導等	63人
撮 影	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理等	16人
託 児	公演時の託児サービス等	8人
文化情報	静岡県文化情報総合サイト「しずおかの文化情報」における運営等	16人
計	(兼務含む)	165人

(4) 危機管理とリスクマネジメント

『火災・地震・風水害等の災害が発生した際の対応』を危機管理、また『前記以外の事故・故障・苦情・不審物等のリスクへの対応』をリスクマネジメントと定義し、それぞれの体制を確立して、来館者の安心・安全と信頼の確保に努めた。

① 危機管理

災害時における来館者の安全確保に万全を期すため、財団職員だけでなく、常駐委託業者スタッフも参加した防災訓練を毎月実施した。

また、発災時の迅速な初動態勢の確立のため、毎日、自衛消防隊の事前編成を実施した。

② リスクマネジメント

平成 30 年 3 月 4 日の爆破予告に対して、施設利用主催者・静岡県・警察・各常駐事業者と連携しながら、事前に警戒を密にし、当日は混乱もなく、催事を滞りなく実施することができた。

故障による機器類の停止等のリスク回避・低減のため、消耗品の事前交換など適切な維持管理を行った。また異常・故障発生時には、来館者への影響を最小とするため、適切な応急措置を直ちに講じ、修繕を行うとともに、財団で実施できない修繕については、県へ迅速に報告し、指示を受けた。

3 友の会事業

区 分	年会費	特 典
個人会員	無料	・企画事業のチケット優先予約（一般発売の1週間前） ・指定する企画事業のチケット購入額の5%のポイント付与 ・積み立てポイントは100ポイント単位（1ポイント＝1円）で次回購入時から割引、または500ポイント単位で1階レストラン・カフェでの割引 ・公演情報の無料提供 ・グランシップ 友の会提携店及び提携館での割引サービス他
法人会員	特別会員 200,000円	・情報誌・グランシップホームページへの法人名掲載 ・グランシップ 1階エントランスホールに法人名掲出 ・企画事業への招待（年間：特別会員20席、一般会員6席） ・事務局が指定する事業の招待券を配布（登録従業員数分、上限：特別会員1,000枚、一般会員500枚） ・法人会員の社員等はチケット10%割引のほかポイント付与以外の個人会員の特典を付与
	一般会員 100,000円	

○入会状況

友の会個人会員数	7,916人
----------	--------

※平成30年4月30日現在の個人会員数：8,049人

	特別会員	一般会員	計
友の会法人会員数	4社	21社	25社

4 文化財団法人運営

(1) 広報・宣伝

新聞広告、情報誌「GRANSHIP」やホームページ等の自己媒体、ブログやモニター等の双方向性のある手段を世代に合わせて組み合わせ、情報発信に取り組んだ。

① 広報調整会議の開催

財団、グランシップ全体の広報・宣伝計画を策定し、毎月1回、広報調整会議を開催し、情報提供時期、媒体等の効果的・効率的な情報発信に取り組んだ。

② 多様な媒体、手段の活用

既存の媒体とインターネット等の新たな媒体を効率的・効果的に組み合わせながら、若い世代から高齢者まで、様々な世代に合わせた広報・宣伝に引き続き取り組んだ。

【自己媒体】

- ・情報誌「GRANSHIP」（年4回発行、A4判、36P、35,000部）
- ・チラシ・ポスター（グランシップ企画事業の公演毎に作成）
- ・ホームページ、メールマガジン、ブログ、フェイスブック等のインターネット系
- ・年間イベントカレンダー（グランシップ企画事業の公演紹介、年1回発行）
- ・財団アニュアルレポート

【広告】

- ・新聞・フリーペーパーへの広告（静岡新聞他）
- ・ラジオ広告（SBSラジオ、K-MIX、コミュニティFM）
- ・交通広告（JR東海静岡駅等でのポスター掲示）

【その他】

- ・記者会見や記者発表、プレスリリース等
- ・公演毎、貸館利用毎のアンケート実施
- ・グランシップ企画事業のモニター制度（10人、公演鑑賞によるアンケート実施と年4回のモニター会議）
- ・貸館利用者による利用者会議（年1回）

(2) 働きやすい職場づくり

① 人材育成

ア 契約職員の正規職員化

平成28年度に実施した正規職員への登用試験に合格した有期雇用契約職員14人を正規職員として登用した。

イ 専門的人材の育成

職員が最新の専門知識、技術を習得できる機会を確保するため、全国公立文化施設協会主催の外部専門研修、静岡文化芸術大学と共催したエグゼクティブプログラム等に積極的に参加させた。

財団事業計画や指定管理者事業計画を含めた財団の運営状況などをテーマに休館日に内部職員研修を実施した。

ウ 効果的な評価制度の運用

勤務実績が優秀な職員に対し、特別研修（職員自ら、取得したい資格、鑑賞したい文化芸術催事、参考にしたい施設等を自由に選び計画したものに対し、財団が費用負担する）を実施した。

② 仕事と生活を両立できる職場づくり

ア 労働時間の適切な管理

労働法令及び労使協定を順守し、職員の出退勤の管理、時間外勤務の事前申請の徹底等、労働時間を適切に管理した。

各々の職員が労働時間を自己管理し、生産性の高い業務に取り組むよう、職員研修等を通じて制度の周知、意識啓発を図る。

イ 健康管理

職員の定期健康診断や人間ドックの検診を実施した。

ウ 育児・介護休業制度の適切な運用

法令改正に依拠した育児・介護休業等に関する規程を改正するとともに育児休業制度を適切に運用した。

区 分	育児休業	短時間勤務	遅出早出勤務
対象職員数	2人	1人	1人

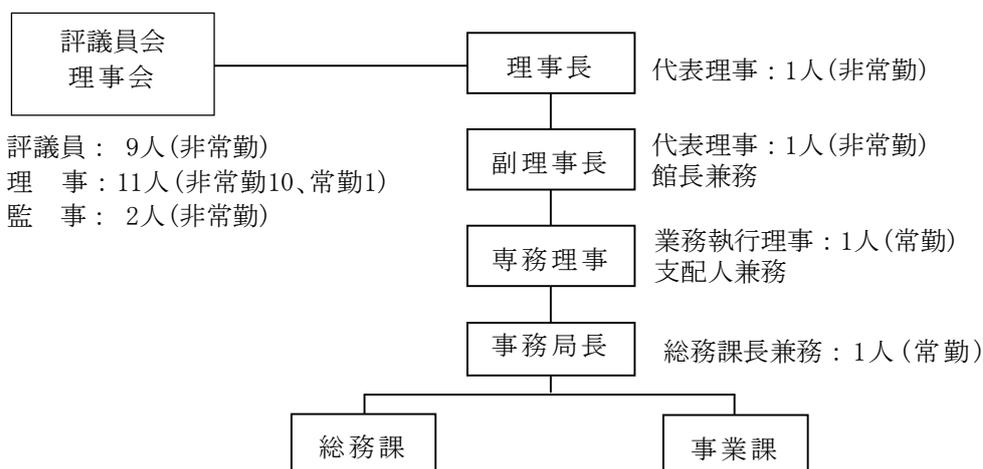
(3) 安定した財務管理

チケットの販売促進や積極的な営業活動、関係機関と連携した大規模催事の誘致、催事開催支援サービスの利用者増による収入の確保のほか、文化庁の国庫補助金の獲得と厚生労働省の各種助成金を活用した。

また、常に財団の財務状況を把握し、適時適切な対応ができる体制を維持するため、毎月の月次決算及び上半期終了時の中間決算を実施した。

(4) 組織体制

(平成 30 年 3 月 31 日現在)



	総務課	事業課	合計
常勤職員数	11人	21人	32人

○理事会等の開催状況

開催年月日	会 議	内 容	採否状況	
H29	5/11	監事監査	・平成28年度事業報告 ・平成28年度決算及び財産目録	—
	5/22	第1回理事会	・平成28年度事業報告 ・平成28年度決算及び財産目録 ・平成28年度剰余金の使用計画 ・定時評議員会の開催	出席者の賛成多数による可決 〃 〃 〃
	6/16	定時評議員会	・平成28年度事業報告 ・平成28年度決算及び財産目録 ・任期満了に伴う評議員、理事及び監事の選任	出席者の全会一致による可決 〃 〃
	6/23	臨時理事会	・理事長、副理事長、専務理事の選定 ・公益財団法人静岡県文化財団組織規程の一部改正	出席者の賛成多数による可決 〃
	12/19	第2回理事会	・平成29年度補正予算 ・諸規程の一部改正 ・第2回評議員会の開催	出席者の全会一致による可決 〃 〃
H30	1/16	第2回評議員会	・平成29年度補正予算 ・公益財団法人静岡県文化財団役員の報酬等に関する規程の一部改正 ・静岡県文化財団理事候補者選考方針	出席者の全会一致による可決 〃 〃
	3/13	第3回評議員会	・理事の選任	出席者の全会一致による可決
	3/19	第3回理事会	・平成29年度補正予算 ・平成30年度事業計画 ・平成30年度当初予算 ・平成30年度基本財産運用計画 ・評議員会の開催	出席者の全会一致による可決 〃 〃 〃 〃
	3/28	第4回評議員会	・平成29年度補正予算 ・平成30年度事業計画 ・平成30年度当初予算	出席者の全会一致による可決 〃 〃

○基本財産の造成状況

平成30年3月31日現在

区 分	基本財産造成額	備 考
県出捐金	600,000千円 300,000千円	昭和59年度～61年度 平成4年4月1日 文化振興基金取崩額 251,100千円 県上乘せ分 48,900千円
小 計	900,000千円	
市町村出捐金	100,000千円	昭和59年度～昭和61年
寄附金等	1,710千円	個人寄附 その他
基本財産造成額合計	1,001,710千円	
基本財産時価評価額	1,053,124千円	平成29年度末 新会計基準による

○許認可及び登記の状況

許認可及び登記の状況は以下のとおりである。

登記日	内 容
H29	8/8 評議員の辞任・就任登記、理事の辞任・就任登記、監事の辞任・就任登記、代表理事の就任登記、電子公告URLの変更登記
	9/7 評議員の辞任・就任登記
	10/16 住居表示の実施による住所変更登記

